



こんにちは **日本共産党**

清水とし子です

発行・日本共産党日野市議会議員 清水とし子

日野市多摩平4-1-1 (清水事務所)

メール jcpsimi@jcom.zaq.ne.jp

Facebook「清水登志子」で検索

携帯 090-6102-7555、事務所 042-582-1042

2019年 安倍政権を終わらせる決意新たに

2019年が幕を開けました。

今年4月には全国で統一地方選挙が行われ(日野市はありませんが)、7月には参議院選挙が行われます。安倍政権に対して国民がNOの審判を下すチャンスです。

参議院で自民、公明等、安倍与党を過半数割れに追い込むことができれば、いまのように悪法を次々と押すことは難しくなります。

その次に来る総選挙は、政権選択選挙となり、国民の手で安倍政権を終わりにすることが可能になります。

安倍政権が倒せるかどうかは、野党共闘の成否にかかっています。マスコミは「野党共闘は進まない」と報道します。

しかし、国会では野党合同ヒアリングが167回も開かれ、安倍政権を追いつめる

国会論戦が展開されました。

昨年11月に開かれた市民連合のシンポジウムでは参議院選挙で、全国32の1人区で野党候補を一本化することが、6野党参加のもとで確認されました。

12月24日に行われた「10月消費税10%ストップ!ネットワーク」の街頭宣伝では、日本共産党、立憲民主党、国民民主党、自由党の国会議員が10月の消費税増税反対の演説を行いました。

消費税増税、9条改憲、辺野古新基地建設、原発再稼働、最も幅広い共同が進んでいる4つの問題で市民と野党の共闘を大いに広げて、安倍政権を終わらせる確かな一歩をしるす年にしたいと思います。

日本共産党日野市議会議員 清水とし子

日本共産党市議団 市議会報告会のお知らせ

1月17日(木) 午前10時～12時

生活保健センター講座室

5人の市議団そろって、12月議会のご報告をさせていただきます。
お誘いあわせてご参加ください。

10月の消費税10%増税は中止を！

商品、買う店、買い方によって税率がまちまち！？

政府は消費税増税に際して、食料品の税率据え置きと、「ポイント還元」による景気対策を行う方向です。

これによって、食料品か非食料品か、大手スーパーで買うか中小小売店、コンビニで買うか、現金かカードかによって、税率が3%、5%、6%、8%、10%と5種類に分かれることとなります。

例えば、オロナミンCは清涼飲料水なので8%、リポビタンDは医薬部外品で食料品ではないので10%。みりんはお酒なので10%、みりん風調味料は食料品なので8%！

さらに、リポビタンDを、イオンで買っ

たら10%、コンビニでカードを使って買うとポイント還元がついて8%になり、まちの小さな薬局でカードで買ったなら5%になります。

ポイント還元は、カードや電子マネーが使えない零細商店では得られないので、不公平が生じます。仮に多額の費用をかけて導入しても、「ポイント還元セール」は9か月間だけです！

大混乱必至の消費税対策について、日本スーパーマーケット協会、日本チェーンストア協会、日本チェーンドラッグストア協会は見直しを求める要望書を提出していますが、当然です。

増税するなら、アベノミクスでもうけた人たちから

日本共産党は、「増税するなら大企業と富裕層から」と主張しています。大企業も富裕層もアベノミクスでさんざん大もうけをしているのに、中小企業や庶民よりも税負担が軽くなっています。これを元に戻して庶民並みに負担をしてもらえば、増税など必要ありません。

内閣官房参与の藤井聡氏やセブンイレブン元会長の鈴木敏文氏など、消費税は必要だと考えている方々のなかからも「今のタイミングであげるべきではない」という声

が上がっています。

映画監督の山田洋二さんや同志社大学大学院教授の浜矩子さんらの呼びかけで「10月消費税10%ストップ！ ネットワーク」も発足、市民と野党との共闘が始まっています。

フランスでは、国民が増税反対デモをやって、ストップしました。日本でも「10月の消費税10%増税反対署名」を広げて、必ず阻止しましょう。

畑だより・・・

1月7日、ものすごい寒波で畑の葉物がことごとく凍りつき、真っ白になっていました。しかし、太陽の日差しを浴びると、すっかり元に戻ります。たくましい生命力に感心するとともに、ちょっと、うらやましい気もする...

